

4-2 インシデント

2010年度は、台車亀裂によるインシデント（鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態）が発生いたしました。詳細は下記の通りです。なお、過去のインシデントを含め、再発防止策を実施済みです。

(件)

| インシデント | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |

◎発生日時・場所

2010年8月5日 正雀工場 全般検査時

◎当該車両設備

C#8314の台車

形式：SS-139A(1994年製)

◎発生状況

検査時、台車横ばりと主電動機吊座との溶接部に2箇所亀裂(130mm×2)発見。



◎原因

製造時の溶接不良と推定。

◎再発防止策

8000系、8200系、8300系車両の台車は順次、超音波探傷検査による製造時の溶接不良を検査してきており、当該編成以外はインシデント発生前にすべて完了していました。インシデント発生後、念のため、同構造のすべての台車を対象に磁粉探傷検査による当該箇所の一斉点検を行い、他に亀裂が無いことを確認しました。

対象車両：SS-139(A)台車装備車両全車(電動機付車両のみ)

8000系 2両

8200系 3両

8300系 11両(当該車両および同一編成の計4両を除く)

